

学校運営委員会だより No.10

委員長 高成田 享
校長 後藤 真司

- 2月10日(木) 17時00分～ 第10回 学校運営委員会開催 於：図書館
《出席者》 石原 千都 大高 真佐子 尾形 彩子 高成田 享 外山 悦朗
松浦 和輝 後藤 真司
(教員) 小林 保子 境野 孝徳 大橋 佑基

(1) 委員長あいさつ

- ・本日は、学校から令和4年度の学校経営方針(案)が示されました。学校運営に関する基本方針の承認は、法律に基づいた学校運営委員会の重要な任務ですので、経営方針(案)を中心に協議をしていきたいと思います。

(2) 学校の現況報告(校長より)

- ・区教委の方針に基づき、1月27日から通常授業への参加またはオンライン学習への参加を選択しての授業を進めています。重点措置期間が延長されることから3月6日まで選択制での授業を継続します。
- ・1学級が3日間の学級閉鎖を行いました。今現在、感染の広がりはありません。子どもたちの健康観察とともに保護者からの連絡等を確認し、慎重に対応しています。
- ・1月29日(土)に実施した「漢字検定」では134名の子どもたちが受検しました。緊張した様子で始まった検定でしたが、終わって教室を出る子どもたちの表情には「頑張った。」との達成感を感じました。学習支援の会や保護者有志の皆様との運営面での協力に感謝しています。
- ・令和4年度に創立65周年を迎えます。記念として、航空写真・全校写真撮影と開校記念集会(6月23日)を企画しています。既に子どもたちには航空写真デザインの募集を始めています。詳細については、改めてお知らせします。
- ・小1サポーターの支援事業の追加実施が決定し、引き続き3月末まで活動をお願いしています。
- ・昨日の学び舎の日では、各校・園にて紙面報告型で1年間の研究・研修及び交流活動の振り返りを行いました。紙面をご参照ください。実りある1年間になりました。来年度につなげます。
- ・教育活動の様子をお伝えするため、学校ホームページを活用しての情報発信にも教員全員で力を入れています。これからもリアルタイムでの情報をお伝えしていきたいと考えています。
- ・区教委より卒業式・入学式の対応方針が示されました。本校でも方針に基づき計画を立てて実施していきたいと考えています。主役である子どもたちの節目となる式となるよう進めていきます。

(3) 教員より ～教育活動・子どもたちの様子・今後の予定など～

- ・来週から継続となる通常登校・オンライン学習への選択状況の確認作業を行っています。今現在、通常登校の選択が432名、オンライン学習の選択が35名です。給食の扱いについても回答していただき、月曜日からの学習と給食への準備を進めていきます。
- ・キャリア教室では、5・6年生がお世話になりました。お礼の手紙ができ上がりました。ゲストティーチャーの皆様にお届けいただければと思います。
- ・今年度は、あいさつ週間の取組を毎月行ってきたことで、成果がありました。来年度につなげていきたいと考えています。
- ・令和4年度の教育計画(年間行事予定)がほぼできました。来年度は文化的行事として展覧会を予定しています。詳細については、今後の保護者会等でお知らせしていきます。

(4) 各委員からの質問・意見と学校の回答【☆：各委員 ★：校長・教員】

☆学校ホームページで、「学校日記」として毎日多くの情報が掲載されています。地域の方々もぜひ、見ていただきたいと思います。学校の様子を観察すると、6年生は卒業も近付きだいが落ち着いてきたかなと思いますが、3年生が落ち着くのはこれからかなという感じがします。

☆「学校日記」の写真は、スマホで見るせいか、小さいなと思います。

☆私もスマホなのですが、写真は見づらい感じがします。保護者としては、どうしても自分の子どもの学級や学年を中心に見てしまいます。

★ブログ作成の際、システム上で掲載できる写真の画素数が限られているため、鮮明な画像を届けられない状況があります。お届けする写真とコメントを合わせて、教育活動の様子を把握していただければと思います。

☆社会科見学や移動教室があると、どんなことをしていたのか、と面白く楽しく見えています。

☆カウント数を見ると、移動教室や林間学園の時などは、すごい数になっていますね。いいホームページだと思います。

★トップページにアクセスカウントがでています。また、学校日記にも4月からの総ブログ数が出ていて、先日1000回を超えました。たくさんの方々に毎日見ていただき、私たちとしても励みになるとともに嬉しく思います。これからも頑張っていきますので、よろしくお願いいたします。

☆コロナによる学級閉鎖が初めてありましたが、閉鎖期間などの基準について、教育委員会からのガイドラインに変更などがありますか。また、これまでのインフルエンザと異なっていることはありますか。

★子どもたちの感染防止と学びの継続を重視し、学級閉鎖は最短期間となっています。学校から区教委担当課へ感染状況等を報告し、学級閉鎖の実施と期間が指示されます。同じ感染症のインフルエンザでの学級閉鎖とは異なる扱いとなっています。区立小学校でも多い時には、全体の約3分の2の学校で、100学級を超える学級閉鎖が行われたとの情報もありました。

(5) 協議事項

＊学校から「令和3年度学校改善策についての結果報告(案)」「令和3年度学校自己評価報告書(案)」「令和4年度学校改善策(案)」「令和4年度学校経営方針(案)」についての説明し、協議しました。

◇学校評価アンケートについては、保護者も地域の人も笹原小をよりよい学校にするために協力しています。来年度の学校経営方針には、その結果がどう生かされるのかを注目しています。学校経営方針を読むと、先生方の熱い思いが盛りだくさんになっていることは理解できるのですが、この方針は新規のものなのか継続なのか、分かりやすくする工夫があってもいいように思いました。また、課題解決のできる組織体制として「チーム笹原」という言葉を見たときに、保護者や地域もチームの一員だと思ったのですが、「教職員の協働態勢」と限定されていたのは、さみしい思いがしました。

◇言葉だけのこともかもしれませんが、「チーム笹原」という言葉には自分も入っていると勝手に思っていたので、教職員だけというのは残念な気持ちがしました。学校としての一体感だけでなく、保護者・地域との一体感も入っているという意識をもっていただきたいと思います。こうした立派な経営方針を実現させるためには、学校と保護者や地域との信頼関係を高めることがカギになると思います。

◇信頼関係ということでは、学校と子どもたちの間の信頼関係を育てていくことも大事だと思います。

◇学校自己評価報告書(案)のまとめには、「笹原小学校に『誇り』をもち、『学校が楽しい』『学校が好きである』と感じる子どもを育てていくことは、最大の使命・責務であり、その基盤となるのは、子ども・保護者・地域からの『信頼』で」と書かれています。来年度の学校経営方針(案)にも「目指す学校像」として、こうした内容が盛り込まれています。ぜひ、こうした学校像を実現していただきたいと思います。

◆たくさんの貴重なご意見をいただきありがとうございます。今年度の学校経営・学校運営を振り返り、成果とともに今後への課題として受け止め、来年度につなげていきたいと思っています。保護者・地域そして学校が一体となって教育活動を進めていきます。よろしくお願いいたします。

★次回、令和3年度 第11回学校運営委員会の開催について

令和4年3月3日(木) 17時00分から <於：図書館>